



次の100年も…ここに商工会！！

ふれあい

発行所 矢板市商工会
矢板市本町2-18

TEL 43-0272

FAX 43-1767 編集 広報委員会

「恋チュン」に3400人！軽トラ出店70台！

軽トラ市

矢板に2万人が来場！



▲（3400人が踊った！）



▲（ご当地キャラも大集合！）

県下最大級！

青年部の手で
賑わい復活！

軽トラ市開催！

矢板市内の中心市街地の活力向上と地域内の交流を図ることを目的に、平成24年度から取り組んでいる「第4回がんばっぺやい軽トラ市」が、去る5月11日に本通り※国道461号 矢板武記念館く足利銀行前約640mを会場に開催された。

青年部の若い力が
まちを動かす！

今回から軽トラ市全体の企画から運営までを青年部が担当し、3月上旬から企画会議を持ち、喧々諤々と議論を積み重ね、当日の運営まで漕ぎ着けた。

第3回まで実施していた前新通りから本通りへの場所の変更や「AKB48」の「恋するフォーチュンクッキー」を2000人で踊る企画等、青年部の若さあふれる行動力・原動力が功を奏し実施できるに運びとなった。

当日、公道に集まった軽トラの台数は、70台。前もって通りに面する各商店には出店を促すなど青年部員が積極的に働きかけを行い、結果的に軽トラ出店と路面店での出店を合わせると約90店以上となった。

また、青年部では軽トラ市開催日までに「恋するフォーチュンクッキー」の練習会を4回開催、延べ約1000人が参加し当日の開催に備えた。

当日は、夏を思わせる好天候の中開催される「恋チュン」への参加は3400人の来場があり、大いに盛り上がった。軽トラ市の来場は、のべ2万人を超え、普段とは全く違う、本通りが大賑わいの光景となった。さて、次回軽トラ市は11月に開催予定。また、違った矢板が見られるかも！ 乞うご期待！

公式動画がアップ
されてるよ！

<http://www.youtube.com/watch?v=I3CD6DeR-ag>



第54回通常総代会開催

起業育成と地域活性化へ

第54回通常総代会は平成26年5月22日、商工会館を会場に総代本
人出席30名、委任状出席30名 さらにも多数の来賓ご出席のもと開催さ
れました



総代会は、矢板市内の吉澤博好氏を議長に選出し、平成26年度事業計画（案）など7議案が審議され、原案どおり可決承認されました。

はじめに、平成25年度事業報告及び収支決算について審議し、承認されました。その他、平成26年度の事業計画等は次の通り。

■リーダースhipの発揮
会員企業の繁栄・発展と地域社会再生のため検討会議や諸活動の支援していく。
■社会要請への対応と地域社会への貢献
PL法・リサイクル法等を普及推進する。
■会員ニーズの理解、信頼関係の構築、満足度の明確化
商工会員の期待を理解し、経営の改善・革新を進めるために、各委員会の開催、経営改善普及事業、巡回訪問、県産業振興センターと連携、商工連事業等を推進していく。
■組織的な戦略策定、形成、展開
県連が進める商工会力向上☆戦略を基に計画を推進する。
■組織力向上の推進
商工会の目的を実践する能力及び職員のスキルアップを図り、経

営支援、活性化事業を行っていく。
■経営革新と組織強化
に向けた各事業の充実
経営、金融、税務、労働、情報化、記帳、青年、女性等の経営改善普及事業を中心に展開していく。
■情報の収集・分析及び情報システムの管理
会報やからわ版の発行を通じて情報の強化に努め、巡回訪問を通して情報収集と提供をしていく。

続いて、第7号議案
役員の補充選任について審議され、青年部長の任期満了に伴う役員改選にて選出された藤田欽哉氏が、選任された。※金田忠之前部長は退任いたしました。



理事 藤田欽哉 氏

前田会長 CRT栃木放送出演 生ワイド番組「ラジっちゃん」



前田商工会長は、6月11日の午前9時から放送されている、CRT栃木放送の「ラジっちゃん」の「電撃セッション」のコーナーに出演しました。

パーソナリティーは、電撃ネットワークのギョウゾウさんと高村麻代アナウンサーの2人。ギョウゾウさんは、塩谷町生まれで矢板東高等学校のご出身。やいたブランドやココマチ・花火大会等のPRの話で盛り上がりました！

6月11日のポッドキャストで聞くことができます。
<http://crt-radio.blog.ocn.ne.jp/radisui/>

小規模企業の経営者の皆さまへ

退職後のゆとりある生活のために 小規模企業共済制度

先行き不透明なこの時代。
退職後の生活資金は万全ですか？

経営者の皆さま。退職金の準備を中小機構がお手伝いします。

小規模企業共済制度に加入し、毎月掛金を納付すれば、退職時に共済金が支払われ、現役引退後も安心した生活設計が立てられます。

- ① 常時使用する従業員の数が、20名以下（商業、サービス業は5名以下）の個人事業主、共同経営者、及び会社等役員の方が対象です。
- ② 掛金月額額は、1,000円～70,000円の範囲内（500円単位）で自由に選べます。
- ③ 毎月3万円の掛金（年間36万円）で、例えば課税対象所得400万円の方なら約11万円の節税になります。
- ④ いざという時に掛金合計額の一定の範囲内で事業資金等の貸付けが受けられます。



未来のために
小さな一歩

●本制度の詳細な内容は、ホームページまたはインターネットをご覧ください。

制度の運営機関：独立行政法人中小企業基盤整備機構 TEL：050-5541-7171（共済相談室）

小規模企業共済

検索

小規模企業共済は
矢板市商工会
(TEL 43-0272)
でも取扱っております
お気軽にお問い合わせ
下さい

職人魂

職人・匠の技！ 第1回 経木職人 秋葉之浩さん (秋葉木工所・越畑)



○経木とは？

木を削り取った薄い板のことを「経木」(きょうぎ)といいます。もともとはお経を書き込んでいたというのが名前の由来です。

昔から日常的におにぎりや和菓子、納豆、生肉、鮮魚など食品を包むものとして使われてきました。今でもやきそば屋さんが持ち帰りのやきそばを包むのに使ったり、お饅頭や肉まんを蒸かすときの底じきにしたり、さまざまな使われ方をしています。

経木文化を守り、製造し続けているが秋葉木工所の秋葉之浩さんです。

昔は、矢板市内だけでも10数件の経木屋(経木製造所)がありました。現在県内で現存する経木屋は、当社を含め2社しかありません。

現在の経木製造機は、昭和30年代に開発された古い機械です。この機械を操れるのも現在では、私1人しかいません。機能的に取り扱いが難しく手間がかかり、細かい操作ができるようになるまでには、良く教え込んでも数年かかるでしょう。他の経木屋も経木職人の高齢化や機械の老朽化による修繕不可能にて、廃業を余儀なくされているのが現状です。

年々、全国的にも同業経木屋の相次ぐ廃業により、関西地区からの受注の問い合わせ多くなりました。使用用途も多様化し、サイズ・厚み・形の違いに対応しなければ生き残れない。関西方面からの受注に対応すべく四苦八苦しながら家族3人で奮闘し、頑張っています。

これからも経木の良さを少しでも多くの人に知ってもらい、経木文化を継承していきたい。このためにも機械等を新しくして、近代化に取り組みたい。

と意欲を示している。今後も職人の奮闘が続く。

秋葉木工所 矢板市越畑346-2 TEL0287-48-0606

矢板市商工会青年部では 新入部員を募集しています！

私たちと一緒に地域貢献・研修事業を通じて商工業の発展や社会勉強をしませんか？

- 対象：20歳～40歳までの方で、矢板市商工会加入の事業所の方
 - ・男女は問いません。もうすぐ40歳の方でも大丈夫です。
 - ・商工会未加入の方は、矢板市商工会に加入後の入部となります。
- 青年部入部のメリット
 - ・市内に異業種の仲間ができ、人脈が広がり、事業展開・ビジネスチャンスの機会が増えます。
 - ・様々な考えの違う人との会議や事業を通じて自己の成長につながります。

◎詳しくは、矢板市商工会青年部 (TEL43-0272)まで

小規模事業持続化補助金
1次募集にて終了!

(全国連より)
 小規模事業者持続化補助金に係る第二次公募につきましては、全国で第一次公募の第一次受付・第二次受付を行い当初予定を大幅に上回るご応募をいただき、補助金の予算枠を第二次受付までで、全て消化してしまふこととなりまして。よって、7月に予定していた第二次公募は実施しないこととなりました。
 今後においては、本補助金の予算獲得について、平成27年度当初予算及び本年度の補助予算に向けて、強力に要望活動を実施していくこととしております。
 誠に恐縮ですが、このような状況をご理解いただきませうようお願い申し上げます。



小規模基本法
6月27日成立

全国385万の中小企業、中でもその9割を占める小規模事業者は、地域の経済や雇用を支える極めて重要な存在であり、経済の好循環を全国津々浦々まで届けていくためには、その活力を最大限に発揮させることが必要不可欠です。しかしながら、人口減少、高齢化、海外との競争の激化、地域経済の低迷といった構造変化に直面しており、売上げや事業者数の減少、経営層の高齢化等の課題を抱えています。
 昨年の通常国会において、8本の関連法案を一括で改正する「小規模企業活性化法」が成立しましたが、中小企業基本法の基本理念に則りつつ、小規模企業に焦点を当て、さらに一歩進める観点から、第186回通常国会において小規模基本法及び小規模支援法が成立しました。

創業者支援施設「コマチ」スタート!



昨年、実施した「創業塾inやいた」第1期生の4名が入店して無事に開業いたしました。
 手塚ヤイ子さん「鬼嫁からあげ」
 綱川知宏さん「ベルパエーゼ」
 坂井則夫さん「ルフラン」
 実久幸生さん「串焼き小料理一久」
 ※是非ご利用下さい。秋口に次回創業塾を計画中です!

頑張る会員さん 紹介 Vol.3 宅配ピザ&ランチカフェ「ふあみー」



店主の和田弘子さんは、某ホームセンターに20数年勤務後、平成25年5月に独立開業。宅配ピザのみならず「おにぎり」や惣菜等の新商品開発に取り組んでいます。なかでも「道の駅やいた」に卸している「焼きおにぎり」が絶品です!和田さんの農園で栽培の唐辛子に付け込んだ醤油だれをベースに作り、ピリッと辛くて美味しい!

矢板市扇町1-13-7 Tel.0287-40-0330

人事往来

平成26年3月31日・4月1日付けをもちまして職員の異動がございました。

退職

指導・振興課長
樋口 亨

異動

主事

栗原 寿子
(うつのみや商工会へ)

長年にわたり大変お疲れ様でした。

新任者

指導・振興課長

福田 充男
(氏家商工会より)



平成26年4月1日から職員設置定数が減になり、事務局は7名体制となりました。
今後とも、よろしくお願いたします。